

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業			事業番号	12-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀博久	教育総務課歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	2	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	12	歴史と文化遺産の継承	
予算事業名	(仮)郷土資料館整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画、伊勢原市歴史文化基本構想			計画期間	平成22年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	現在、伊勢原市は日本遺産の認定のほか、新たな観光の核づくり認定事業である”大山魅力再発見「平成大山講」プロジェクトの認定や、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン改訂4版(仏語)」に大山が紹介される等、市の認知度が上がってきている。これに伴い、市内の文化財への興味・関心、恒常的な展示施設への期待も高まりつつある。				
目的 (何をどうしたいのか)	市内に所在する文化財を適切に保存し、その活用を図って市民の文化の向上に資するため、市所有の文化財を展示、公開し、活用事業を展開するための施設を整備し、管理・運用する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び市外からの来訪者				
事業内容 (手段、手法など)	・市民から寄贈を受けた家屋と敷地を有効活用した上で、文化財の常設展示施設等としての利用に供する(仮称)郷土資料館の整備に向け検討を進めます。 ・また、(仮称)郷土資料館としての供用を開始するまでの間にあっても仮設的展示を行い、市内にある貴重な文化財等を紹介します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	施設維持・管理	維持管理	維持管理		
	改修	実施	実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	資料展示会の開催回数	—	1回	1回	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	施設維持・管理	維持管理	
	改修	実施	
実施した取組の内容	敷地と建物の適切な維持管理を図りながら、施設を利用し、文化財資料の整理を進めた。また、空調、照明等、必要な施設改修を段階的に実施した。さらに、施設を利用し、日本遺産のストーリーや構成文化財、大山に関する市民団体の研究成果等を公開する展示会、「文化財フェスタ2017」を実施した。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度 29年度
	資料展示会の開催回数	-	1回

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		3,145		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	0		千円					千円
	地方債 ②	0		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	3,145		千円			0		千円
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.5	人	4,325	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.5	人	4,325	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				7,470	千円				
単位当たりコスト	対象数	定義	展示会の参加者数		単位			単位	
		対象数	550		人				
	総事業費／対象数	13,582		円					円

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	施設の維持管理については、適正に実施することができた。照明、空調等、利用に当たって必要な改修も行うことができた。改修後の施設を利用して、日本遺産等を紹介する展示会を開催した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	県内には、市民からの寄附施設を展示施設として利用した事例が少なく比較が難しい。施設の規模や条件を踏まえ、伊勢原市にふさわしい整備方策を検討していく必要がある。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	施設については利用価値が高く、今後の検討により将来の有効活用を図ることが可能である。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	維持管理については、必要最低限の経費で実施し、改修費の一部には外部資金を充当した。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	資料の展示・公開、日本遺産の情報発信、観光スポット案内等の機能を有する施設として整備していくためには、バリアフリー化等の基本的な環境整備を行う必要がある。また、資料館としての本格稼働に当たっては、法的な位置づけとともに、施設の運営方法(市直営、指定管理等)、駐車場整備等が課題となる。
次年度取組方針		市民から寄贈を受けた土地・建物を有効活用した上で、文化財資料を市民をはじめ多くの方々に展示・公開する(仮称)郷土資料館としての整備に向けた検討を進める。		
所管部長による総評		施設の維持管理を効率的に行い、仮設的展示会の実施など施設の利活用を図るとともに、将来の有効活用策を検討していく必要があります。		